

平成 24 年度 学校評価結果

領域	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ												
学校経営	<p>①今年度のメール配信システム保護者加入率は約 81% (昨年度約 75%) で、特に 1 年生については約 89% であり、昨年より増加した。</p> <p>②今年度は、1 学期には授業公開週間、2 学期には昨年同様授業公開日を設定した。</p> <p>③各学期に事故・不祥事防止のための研修を実施した。</p> <p>④ホームページ更新を日々努め、積極的に行事や授業の様子をアップロードした。</p>	<p>①メール配信システムについては、引き続き加入率増加に努め、家庭との緊密な連携を図る。</p> <p>②授業公開については、より多くの保護者に参加してもらえるような工夫が必要である。</p> <p>③より安心して学校生活を送れる環境づくりのために、不祥事防止のための研修活動を充実させる。</p> <p>④ホームページの一層の充実を図り、家庭・地域との連携を深める。</p>	<p>②授業参観により、生徒がしっかり学習している姿が好印象を得た。しかし、保護者の参観者が少ない、多くの保護者に参観してもらうよう努力してほしい。</p> <p>④地域・街づくりの要は、高校生である。生徒のボランティア活動など、これからも部活動を中心に、地域に根ざした地道な活動を継続してほしい。</p> <p>保護者が学校のことを知る機会を増やしたほうがよい。保護者同士がつながることが大切である。</p> <p>ホームページの更新回数が増加した。</p>	<p>②授業公開日及び回数を検討し、保護者の来校数を増やす。</p> <p>④保護者・地域に学校のことをよく理解してもらえるよう、これまで以上に情報提供に努めることが重要である。次年度は、1 年間の閲覧件数の確認し、学校の認知度を図る。</p> <p>学校と地域連携をより推進し、生徒の活動を理解してもらう。そのため、開かれた学校づくり委員会と連携する。</p>												
学習指導	<p>①授業公開は保護者対象に各学期 1 回ずつ、中学校教員対象に 2 学期に 1 回実施した。</p> <p>②授業評価アンケートを全科目、全講座で初めて行い、アンケート結果を基に各担当者が授業改善に取り組んだ。その結果、学校評価に係る生徒アンケートの「わかりやすく、ていねいに授業を行っているか。」の問いに対して、肯定的な回答が、昨年度と比較して 7 ポイント増加した。</p> <p>③ 漢字検定合格者数</p> <table border="1" data-bbox="219 1171 795 1310"> <tr> <td></td> <td>2 級</td> <td>準 2 級</td> <td>3 級</td> </tr> <tr> <td>平成 2 4 年度</td> <td>5 人</td> <td>9 人</td> <td>9 6 人</td> </tr> <tr> <td>平成 2 3 年度</td> <td>1 人</td> <td>2 1 人</td> <td>6 0 人</td> </tr> </table>		2 級	準 2 級	3 級	平成 2 4 年度	5 人	9 人	9 6 人	平成 2 3 年度	1 人	2 1 人	6 0 人	<p>①授業公開については、参加人数が少なく、より多くの先生方に見ていただくための方策を考える必要がある。また、小・中学校の参観においても、本校職員の多くが見に行けるような工夫が必要である。</p> <p>②授業アンケートについては初めての試みであったが、生徒が授業で感じていることを、今後の授業に生かしていけるようにしたい。</p> <p>③漢字検定合格者数の 3 級以上については昨年度よりも 2 8 名多く合格した。来年度は、3 級合格 1 5 0 名以上を目標に、漢字検討委員会を中心に検討する。</p>	<p>①高校の先生に小・中学校の授業を見て、高校の授業の中で参考にしてもらいたい。</p> <p>②家庭学習に積極的に取り組ませたい。来年度は冷房が設置されることが決まり、よりよい環境で学習効果があることが期待できる。</p>	<p>①小・中・高校の連携を活用し、面談週間中に副担任が、午後を使い授業見学を行い、指導力の向上を図る。</p> <p>②学力向上へ向けて、授業アンケートを活用して授業の質の向上を図るとともに、保護者にも授業参観に積極的に参加してもらえるよう努める。</p>
	2 級	準 2 級	3 級													
平成 2 4 年度	5 人	9 人	9 6 人													
平成 2 3 年度	1 人	2 1 人	6 0 人													
生徒指導	<p>① 2 学期末までの遅刻数は昨年度と比較し約 200 回多くなってしまった。しかし、遅刻率でみると目標の 1.0% までは届かなかったが、0.9% 減少した。1 人あたりの欠席数を見ると、大幅な減少がみられ、HR での指導や遅刻指導が効果を上げていると考えられる。</p> <p>②生活を見直す週間中とその前週を比較したところ、統計的に有意な増減は見られなかった。また生活を見直す週間中の方が遅刻数が増えた学年もあり、次年度以降何らかの対策を立てる必要がある。</p> <p>③生徒指導部からのアンケートは実施できなかったため、来年度は各学期末に実施したいと考えている。また学校評価アンケートでは、生活指導については、概ねしっかりしているという結果が出ているので今後も続けていきたい。</p>	<p>①目標値には届かなかったものの遅刻率を減少させることはできたので、その点は評価できる。次年度は更に遅刻率を減少させていきたい。</p> <p>しかし、今年度は生徒の軽はずみな行動が多く、もっと指導を徹底していかななくてはならない。次年度は減少を目標とし、生徒指導部だけでなく学校全体で取り組んでいきたいと考える。</p> <p>②生活を見直す週間に対して、全職員で対応する意識改革を行う。次年度は、副担任が登下校時に正門及び裏門指導を行い、学校全体で取り組む。</p> <p>③生徒意識調査を実施し、担任の個人面談時に活用する。また、生徒指導部においては、問題行動等の未然防止のために活用する。</p>	<p>①遅刻については、結果を真摯に受け止め、細かな分析をして今後の指導に当たって欲しい。欠席は少なく、評価できる。</p> <p>②情報過多の時代で、若者は楽な方向に流れやすいと言われるが、本校で今の指導を継続することが肝要である。</p>	<p>①これまでの生徒指導の実績を踏まえて、きめ細かい指導を継続するとともに、保護者に学校の様子を理解してもらうための情報提供に努める。</p> <p>②職員の連携を図り、生徒指導の充実を図り、安全・安心な学校づくりを行う。</p> <p>③個人面談及び保護者面談において、活用できる、生徒実態アンケートや教育相談研修を実施し、生徒理解を図る。</p>												

<p>健康・安全教育</p>	<p>① 防災訓練を通して、震災に対する生徒、職員の意識を高めることができた。          防災用備蓄品購入を決定した。(25年度生徒数分)          ②本年度は感染した生徒も少なかった。健康や安全に対する保護者、生徒、職員の意識は高い。          ・学校事故(スポーツ振興センター給付金手続き件数)          22年度 : 46件          23年度 : 55件          24年度 : 72件          ・次年度、クラス増のため施設面の検査、準備を行った。</p>	<p>①大震災に備えて、地域自治体との連携として、合同の防災訓練等の検討を行う。          ②今後も様々な感染症に対し、個々の感染症に対応した予防策を徹底する。          校内施設、設備の老朽化により、危険箇所が増大していると思われるので、今後も調査を日常的に実施する体制を作る必要がある。古くなったカーテンなどの買い換えなど、抜本対策を検討していく必要がある。          学校事故が年々増加しているため、減少させるための対策を、管理部を中心に検討する。</p>	<p>①地域に開かれた学校として、地域と連携した防災訓練など検討を進める必要がある。          ②本校は部活動がさかんであり、活動中の事故によるけがが目立つのではないかと。治療を続けながら登校している生徒もおり、がんばっていると思われる。          来年度、冷房の設置が決まり、熱中症予防など、より快適な環境での学校生活が期待できる。</p>	<p>①来年度も、地区の防災訓練に多くの生徒の参加を促し、防災意識の向上を図る。          ②冷房以外についても、環境整備に努めていきたい。</p>																
<p>キャリア教育</p>	<p>①予定された進路行事に加え、進路相談の充実を図ることを継続させている結果、進路未定者は減少傾向にある。          ②進路行事内容          キャリア講座 1年生1回(11月)          2年生3回(6月2回・2月)          講演会 1・2年生対象(10月)          面接指導(3年生) 就職3回・進学2回          説明会(3年生) 大学3回、専門学校3回、就職8回          インターンシップ(7月・12月)          進学相談会を保護者及び生徒対象に6月実施          ③予定通り実施ができ、進路意識を高めることができ、成果が実感できた。          12月までの進路内定状況(在籍者数に対する割合)</p> <table border="1" data-bbox="219 1171 819 1354"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>今年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進学</td> <td>44.8%</td> <td>50.8%</td> <td>59.8%</td> </tr> <tr> <td>就職</td> <td>24.0%</td> <td>22.1%</td> <td>14.8%</td> </tr> <tr> <td>未定</td> <td>31.1%</td> <td>27.1%</td> <td>25.4%</td> </tr> </tbody> </table>		22年度	23年度	今年度	進学	44.8%	50.8%	59.8%	就職	24.0%	22.1%	14.8%	未定	31.1%	27.1%	25.4%	<p>①現行の進路指導体制を維持し、生徒の希望がかなえられるよう、発達段階に応じたキャリア教育を推進し、適切な職業観を身に付けさせるとともに意味のある進学指導をより充実させてゆきたい。次年度は、進路未決定者数0を目指したい。          ②生徒の実態に合う進路指導を意識し、進路行事は学校行事に取り入れ、生徒の進路実現を目指す。今後は、進路実現のため、基礎学力向上のため、きめ細かい補習体制を構築させる。そのため、進路と学年が連携する。</p>	<p>①幼児教育分野の短大への進学が増加している点については、今後とも、近隣の施設(保育園、専門学校など)との積極的な連携を継続することが望ましいと考えられる。          進路未定者は減少傾向にあるが、さらに具体的な数値目標を設定して、指導を継続して欲しい。          ②キャリア講座を見学したが、生徒に対しての進路指導は、非常に良いので、継続してほしい。</p>	<p>①現行の指導体制を維持しながら、保護者とも連携して、一人一人の生徒の進路実現を目指したい。          ②今後は、進路理解のため、キャリア講座に保護者の参加を促す。          ③進路実現のため、1年生から基礎学力向上を進路部を中心に補習等計画を推し進める。</p>
	22年度	23年度	今年度																	
進学	44.8%	50.8%	59.8%																	
就職	24.0%	22.1%	14.8%																	
未定	31.1%	27.1%	25.4%																	